

地方独立行政法人福岡市立病院機構
令和7年度第7回理事会 議事録（要旨）

- 日 時：令和7年11月26日（水）15:55～17:15
- 場 所：こども病院 講堂
- 出席者：堀内理事長（議長）、楠原副理事長、瓜生理事、神坂理事、平田理事、柳澤監事、近藤監事 [欠席：石橋理事]
- 議 事

1 「上半期の収支状況」について

＜概要＞

上半期の収支状況についての説明を事務局より行った。

【報告事項】

1 「上半期の実績、課題及び今後の取組」について

＜概要＞ 上半期の実績等について、事務局より報告を行った。

（こども病院の上半期の実績）

＜医療サービス＞

【良質な医療の実践】

- 「小児慢性特定疾病児童等レスパイト支援事業」として7件（延べ35日間）の受入れ（4～9月）
- 移行期医療（たけのこ外来）支援人数116人（4～9月）

【地域医療への貢献と医療連携の推進】

- オープンカンファレンスを計9回開催。延べ264人参加。（4～9月）
- 地域医療連携室ニュースレターの発行（6月）

【災害・感染症等への適切な対応】

- 熊大病院災害医療教育研修センター主催の災害時多職種連携人材養成WEB講座に参加（8月）
（9月）事務1名ずつ
- 令和7年度事業計画（BCP）策定研修（福岡県主催）に参加（事務1名、看護師1名）

＜患者サービス＞

- 「どこでも万博」開催（6月）
- 大阪・関西万博連携ホスピタルアートプロジェクト2025（7月）
- こども病院での心に残ったエピソードを募集 絵・作文コンクール（9月）

＜医療の質の向上＞

【病院スタッフの計画的な確保と教育・研修】

- 小児科専攻医獲得に向け、FUKUOKA CHOPPSをハイブリッド（現地とweb）で開催。
延べ51人参加（6月、9月）
- 看護学生を対象にインターンシップ&病院説明会を開催。延べ105人の参加（8月、9月）

【信頼される医療の実践】

- 新たに、3疾患3種類のクリニカルパスを作成した。
クリニカルパス使用率：令和7年度51.4%、令和6年度47.0%、令和5年度45.3%

【情報発信】

- CGGプログラム（7月）（参加20名）及びこどもアレルギーセンター講演会（8月）
（参加53名）を開催。
- 専門医による新聞コラム掲載（4月～7月、9月）

＜効率的かつ適正な運営＞

【先端技術の活用推進等による業務改善】

- 電子処方箋の導入

＜職場環境の向上に向けた取組＞

- カスハラ・患者トラブル事案等による、職員の不安を解消して安心・安全な職場づくりを推進するため、福岡県警察本部の協力の元、警察OBの保安員を配置。

＜収支改善＞

【収益確保】

- 保険診療検討ワーキングチームによる査定内容の分析及び早期対応の徹底
上半期二次審査査定率：令和7年度0.11%、令和6年度0.14%、令和5年度0.21%
- 上半期 寄付総額 4,764千円
(研究基金2,580千円、療養環境基金1,279千円、滞在施設整備基金905千円)

【費用削減】

- 医療機器に係る保守委託契約の内容見直しによる費用削減 8,884千円(10月時点)
- (市民病院の上半期の実績)

＜医療サービス＞

【良質な医療の実践】

- 肝臓外科の名称変更(「肝臓・胆のう・膵臓外科」)(令和7年9月1日付)
- 循環器内科で新たな治療を開始：パルスフィールドアブレーション、マーシャル静脈エタノール注入化学的アブレーション、左脚領域ペーシング(刺激伝導系ペーシング)
- 医師の監督下において、手順書に準じた看護師の特定行為を実施(気管カニューレの交換、動脈血液ガス分析関連、人工呼吸器からの離脱など)
- 脳卒中相談窓口での情報提供・相談支援の実施(対応回数34回、支援患者数34名)
- 歯科衛生士によるラウンド実施(実施件数81件、対象患者数69名)
- 医療情報システムネットワークでのチャットツール活用(主に退院調整で使用)
- 急性期リハ機能の充実に、土曜日のリハビリテーションを開始(8月)

【地域医療への貢献と医療連携の推進】

- 救急救命士による救急患者連携搬送と、医師同乗による迎え搬送の実施(31件)
- 地域の医療機関への積極的な訪問活動(延べ168施設を訪問)
- 特定行為に係る看護師の指定研修機関として6期目を開講(3名(外部0名、内部3名))
- インストラクター派遣 JNTECプロバイダーコース(4,5,6,8月)、ITLS(5月)、NCPR(6,9月)、BLS0(6月)、JPTEC(8,9月)、ICLS(8月)
- 講師派遣「医療施設(病院)における看護サービス提供と看護師の役割について」(122名参加)福岡女学院看護大学(5月)
- 福岡国際医療福祉大非常勤講師派遣(特定行為共通科目 受講生23名)(7月)
- 福岡看護協会ふれあい看護体験事業 福岡県立須恵高等学校生徒5名受入(看護体験等実施)
- 地域連携広報誌FCHの発行(4月、8月)

【災害・感染症等への適切な対応】

- 災害時参集訓練の実施(5月)及び消防訓練の実施(9月)

＜患者サービス＞

- 病棟へオストメイト対応トイレ設置(4月)
- SMS(ショートメッセージサービス)を活用した、文書作成通知による業務効率化

＜医療の質の向上＞

【病院スタッフの計画的な確保と教育・研修】

- 医療安全管理者研修受講1名(7月～1月)
- 福岡県実習指導者講習会受講1名(8月～12月)

- 外傷セミナー（JPTEC プロバイダーコース）受講 2名（9月）
- 認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講

【信頼される医療の実践】

- クリニカルパス使用率の向上（56.0％）
- 病院機能評価の受審（8月）

【情報発信】

- I C I C（Infection Control Information Center：感染対策情報発信センター）
ニュースレター発信（9月）
- インスタグラムを利用した情報発信（18回）
- HAE DAY（遺伝性血管性浮腫の日）正面玄関側看板のライトアップ（5月）
- テレビ局取材対応（7月：熱中症予防、8月：夏のヒートショック）

<収支改善>

- SMS（ショートメッセージサービス）を活用した、未収金督促の強化
- 九大西山准教授の助言を受け、所属長会議の形式・資料の変更（5月）

<主な意見等>

特になし

2 「福岡市民病院のあり方について―答申―」について

<概要>

令和7年11月13日に病院事業運営審議会会長から福岡市長へ答申された内容について事務局より報告を行った。

<主な意見等>

特になし

3 交通事故による損害賠償額の決定に関する専決処分についての報告

<概要>

令和7年8月4日に、機構職員が業務のため自動車を運転していたところ、交通事故を起こし、相手側の車両を損傷させたことから、令和7年第5回理事会（令和7年9月24日）にて理事長が専決処分により損害賠償を履行することについて原案可決された件において、保険会社より示談の通知が届いたことから専決処分したため事務局より報告を行った。

<主な意見等>

特になし